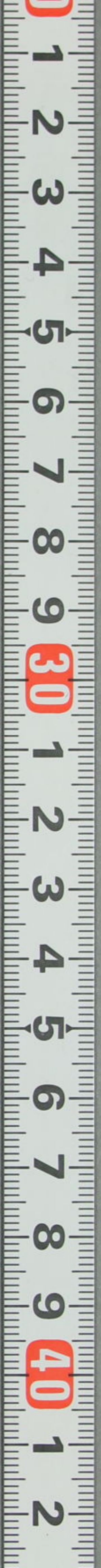


^ 5
5646





雨

柱

月





露柱庵也藝評

云會目

天^サ木芝

地^ハ武麿

人^ハ陸吉

番外

無山

陸吉

為吉

狂元

鬼影

五息^ミ部

嬉席て五月あつてく志あつたり
 本中のやうく大勢やなつきは
 酒の香のぬけー日和や春の行
 出て見れはまゝ多ねなり 木下書
 あゝまゝとありり 葉橋 順
 世の中らんははるるやうつあり
 水うけて人々はるるや こけのたき
 復た水立源入まればハもも 成以
 ちうさーと坊てハ重とき牡丹が
 入構の意も牡丹の登りり
 釣舟の舟よとろろとさき 田うれ
 釣り家も任めた都 採果大 鳥
 滝つきさ露の若くも 采果大 鳥
 埃思ち人の空想 深く ちた
 茶とあはぬ水と就充せなき 地

抗 陸
 け 爾
 ち 忌
 二ノ
 三ノ
 陸 吉
 葉 外
 房 昭
 とく 女
 女 忌
 若 照
 桃 春
 二ノ 意



聲泉

舟の軍地のはく滝とまねりり
五月雨や弓の点出は壁の穴
十分よ日を清てさく牡丹可れ
夏月の月次ぬ柳子居りりり
冬入る足思ふちのふとん引
夕飯の子き山家や五月雨
袴着ておれ運入る日牡丹
梅桂水よりつて啼よりりり
子ら笠の中へ森つて田植
紫柳におたれておる雀うね
人おれ麻の子の多し祿屋町
堂燈着ておるておるやん
無山や清水の道のりりり
照つくりや思れ家ハ風薫る
五月雨や土蔵の森に風巻の香
常賣の割篝おるわ木下書
六郎之助

徳好 山嵐 糸枕 明貫 五風 一窓 左窓 六笑 曉堂 巴山 二ノ 口ノ 松月 殿友 紫水 南枝 子庵 欠子 全

けー切や登森へ居る船方工
との梅を折るのもおききつ
深きや流る水の音もあ
滝あかす面とありりりり
浮きあふ気と垣とささる梅り
舟の童子任は菜摘のりりり
やえのふこおるややん水
卯の花よ月のさしおむ小庭うね
船の涼く海よりつるをささりり
枝ののいららもあるやりり子
若のつせのさしき魔りりり
月よもささしき魔りりり
御膳も社の流れや花をく
踊場やよりこむわりの句か
画と書くと二も流るる五月雨
廣斗の伝原と勝るや建
七郎之助

子庵 糸仙 二ノ 全 口ノ 石ノ 石ノ 鬼教 正南 此草 松月 玉志 花山 津章 紅赤 欠子 子庵 為吉 洞庭 くと母

嘆と日下散る花もあり 仏生舎、
 榻榻や出ると志ハ一の居れ 笠樹、
 六月もろく旅暮の庭やあ晴時、
 烟毛のく実のさゆーや門さき、
 人の心出ぬけさふ 庵う 那翁、
 翡翠翠の影んそまつむ小真、
 廻くとあさくん地あり 友の月、
 舞臺の鏡うをえりり 音の 月、
 秀逸美砂々 節、
 尚りあふきの海ーや井のわん、
 鳥やういそ門ちや梅のまゝ、
 あうまう啼亦もかくは果去鳥、
 夕まやるよりまきまきの 柳、
 かはりや夜風のさく風珠の沈、
 〇
 露の名員々や新の中、
 軸
 画々 かのさくさくも
 佛々 燭々
 也 薈

對笠庵評月次朱上

甲子十月分

天 七矣 六、口、

信葵連 葉列

地 外七矣 口、

葵連 笠花

人 全 順

信上馬次 松翠

白保 一瓢 翠林 格青 霞松 井筒 一切
 全我 素語 芳名 香噴 志 廣 因 也
 三化 器 一 派 柳 雲 山 天 能
 松里 器 仙 里 北 岳 西 岳 大 昔 善 早
 女前 一 鹿 登 太 志 飛 性 想 夕 夕 夕
 谷水 名 凡 土 瓦 志 飛 性 想 夕 夕 夕
 馬色 昇 春 耕 耕 院 志 飛 性 想 夕 夕 夕
 拂々 代 女 森 竹 登 亭 鳥 白 無 筆 柳 枝 松 翠

移み木のしるしをみるに 山入
 こころのしるしをみるに 小舎の多き山入
 荒海や小舎の風の想のこころ
 湖市の大橋をみて 風の想のこころ
 こころのしるしをみるに 山入
 人のあて 風の想のこころ
 幾くも 山入 風の想のこころ
 舟のあて 風の想のこころ
 舟のあて 風の想のこころ
 こころのしるしをみるに 山入
 舟のあて 風の想のこころ
 こころのしるしをみるに 山入
 舟のあて 風の想のこころ
 こころのしるしをみるに 山入
 舟のあて 風の想のこころ

フニエレン
 麻六山
 下 中
 上 山
 大カキ
 丹市
 大カキ
 大カキ
 フニエレン
 フニエレン
 フニエレン
 フニエレン
 フニエレン
 フニエレン

移み木のしるしをみるに 山入
 こころのしるしをみるに 小舎の多き山入
 荒海や小舎の風の想のこころ
 湖市の大橋をみて 風の想のこころ
 こころのしるしをみるに 山入
 人のあて 風の想のこころ
 幾くも 山入 風の想のこころ
 舟のあて 風の想のこころ
 舟のあて 風の想のこころ
 こころのしるしをみるに 山入
 舟のあて 風の想のこころ
 こころのしるしをみるに 山入
 舟のあて 風の想のこころ
 こころのしるしをみるに 山入
 舟のあて 風の想のこころ

フニエレン
 麻六山
 下 中
 上 山
 大カキ
 丹市
 大カキ
 大カキ
 フニエレン
 フニエレン
 フニエレン
 フニエレン
 フニエレン
 フニエレン

山嶺のふもとに... 小マレン
... 仙... 鳥... 雲... 山...
... 仙... 鳥... 雲... 山...
... 仙... 鳥... 雲... 山...

六下うゆ

... 大カキ... 信コマ返...
... 大カキ... 信コマ返...
... 大カキ... 信コマ返...

小マレン
仙
鳥
雲
山

大カキ
信コマ返
...

... 山... 仙... 鳥... 雲... 山...
... 山... 仙... 鳥... 雲... 山...
... 山... 仙... 鳥... 雲... 山...

山
仙
鳥
雲
山

一
月

一
月

田の... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島...
 田の... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島...
 田の... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島...

下ヤ	ア	ミ	白	大	ち	テ	四	吉	ヨ	大	ア	カ	四	武	エ
ヤ	ミ	ト	本	ク	を	テ	ワ	ツ	ハ	テ	ア	タ	日	川	山
ト	レ	レ	ホ	ホ	レ	レ	ヤ	ヤ	マ	ホ	レ	夕	夕	タ	タ

柳... 松... 杉... 柏... 楓... 萩... 橘... 梅... 桜... 桃... 李... 杏... 梨... 栗... 柿... 葡萄... 蘋果... 梨... 桃... 李... 杏... 梨... 栗... 柿... 葡萄... 蘋果...

世... 大... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島...
 世... 大... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島...
 世... 大... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島...

下	サ	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下
ヤ	ク	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
ト	ラ	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト

山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島... 山... 谷... 川... 池... 湖... 海... 島...

Handwritten notes in the right margin of the left page.

Main body of handwritten text on the left page, written in a dense, cursive style.

Index or key for the left page, listing characters and their corresponding page numbers or locations.

Additional notes or a second index at the bottom of the left page.

Main body of handwritten text on the right page, continuing the cursive style from the left page.

Index or key for the right page, listing characters and their corresponding page numbers or locations.

Additional notes or a second index at the bottom of the right page.

Handwritten text on the right margin of the left page.

三

Main body of handwritten text on the right page, written in a dense, cursive style.

Bottom section of the right page containing several columns of vertical text, possibly a list or index.

Main body of handwritten text on the left page, written in a dense, cursive style.

Bottom section of the left page containing several columns of vertical text, possibly a list or index.

Handwritten text on the left margin of the left page.

三

鳥の鳴き声は、春の訪れを告げる。木々の芽吹き、花の咲き始め、大地が目を覚まし始める。この季節は、希望と再生の季節である。自然の営みに心を奪われ、日々の生活に息を吹き返す。春の訪れは、心にも春を呼ぶ。

新レシ
カニタ
西久ホ
マヒキレ
林田ハ
アコヒ
新ホリ
山
野
文
明
春
の
訪
れ
を
告
げ
る
鳥
の
鳴

春の訪れは、心にも春を呼ぶ。自然の営みに心を奪われ、日々の生活に息を吹き返す。春の訪れは、希望と再生の季節である。自然の営みに心を奪われ、日々の生活に息を吹き返す。春の訪れは、希望と再生の季節である。自然の営みに心を奪われ、日々の生活に息を吹き返す。

テウセン
シホノ
アコヒ
ヤナキモト
ホアフレ
カニタ
野
文
明
春
の
訪
れ
を
告
げ
る
鳥
の
鳴

天亭、柳巷 地幸九、春湯 人幸千、軌

うさろんちとあれく... 柳巷、水馬、柳巷、湯

戸入り... 柳巷、湯、柳巷、湯

新... 柳巷、湯、柳巷、湯

見... 柳巷、湯、柳巷、湯

明... 柳巷、湯、柳巷、湯

香引亭川

実出、清、英、室

悟、生

麻布 梯田町 摩利支天尊額

四季紅菱句合

企鵝之舎



對笠菴評

天吳施巧

地言涼山

人在悟道

葛分 種丸

喜黃 白梅

露籠

湖如

昔々免之梅の影をうけてるらん丸を
移してついでにやたらとくさくさ
月ありまの影をうけてるらん丸を
昔々免之梅の影をうけてるらん丸を
移してついでにやたらとくさくさ
月ありまの影をうけてるらん丸を

蕉笠菴評

天言梯祥

地言池巴

人在素人

書分

吐月

英州

梅生

梧青

中遊

昔々免之梅の影をうけてるらん丸を
移してついでにやたらとくさくさ
月ありまの影をうけてるらん丸を
昔々免之梅の影をうけてるらん丸を
移してついでにやたらとくさくさ
月ありまの影をうけてるらん丸を

解松堂評

天言五身

地言五山

人在瓢友

竹梯 素人 池巴 梧青
解松堂 人在瓢友

萬分 憂切 永古 二交 梅生 種丸

昔々免之梅の影をうけてるらん丸を
移してついでにやたらとくさくさ
月ありまの影をうけてるらん丸を
昔々免之梅の影をうけてるらん丸を
移してついでにやたらとくさくさ
月ありまの影をうけてるらん丸を

素人 池巴 梧青 人在瓢友

新考庵改
大觀 菴評

天言涼雨

地言永古

人在半遊

昔々免之梅の影をうけてるらん丸を
移してついでにやたらとくさくさ
月ありまの影をうけてるらん丸を
昔々免之梅の影をうけてるらん丸を
移してついでにやたらとくさくさ
月ありまの影をうけてるらん丸を

永古 人在半遊

竹葉金評
天言五身
地言五山
人在瓢友

高行 英川 玄路 柳景 山麓 傑句

きくめきく梅の葉は只見えぬ
千ののりや柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ

再考

舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ

舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ

斯人行世間
能滅衆生闇

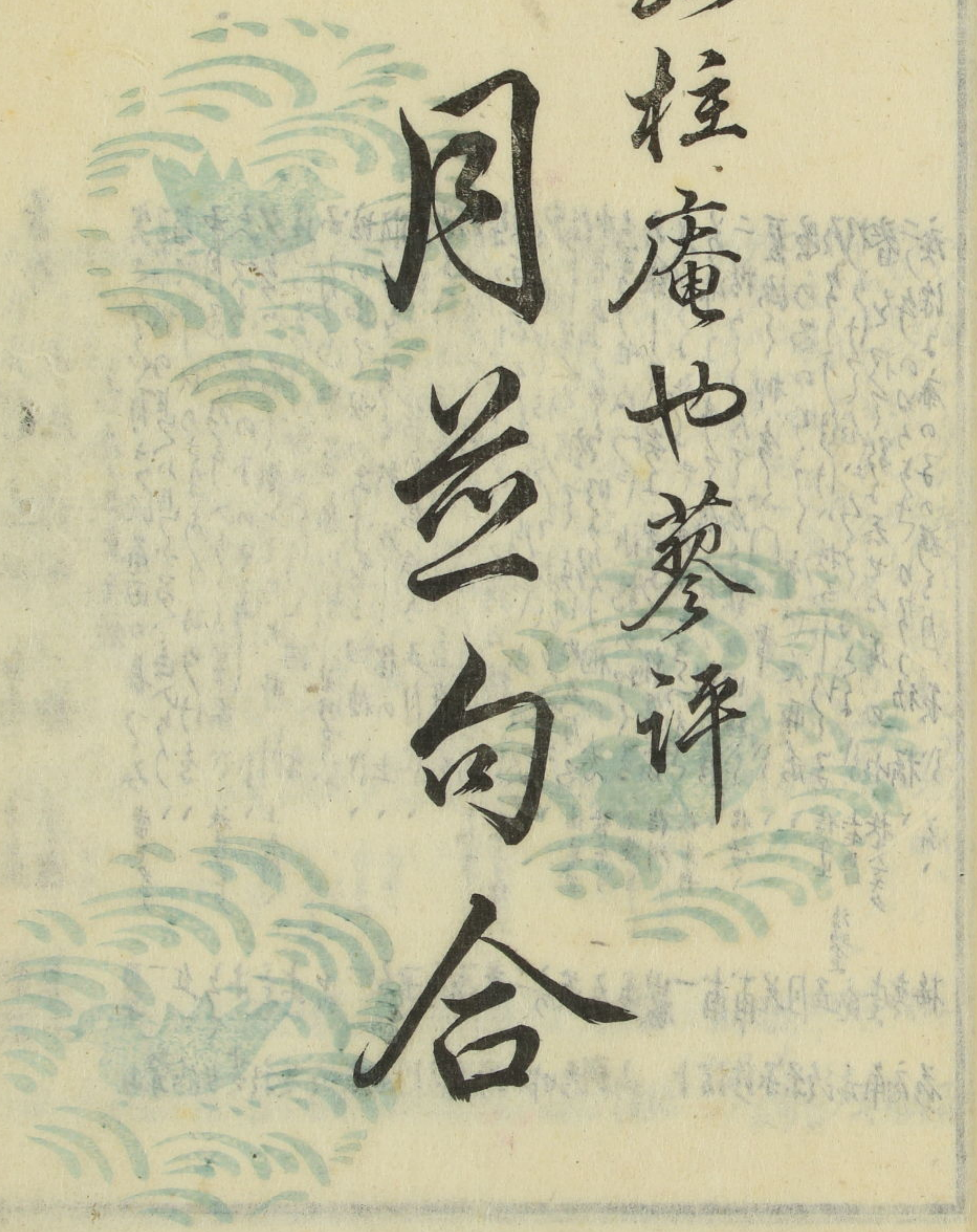
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ

舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ

舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ
舟の葉は柳の葉は只見えぬ

露柱庵也夢評

月並句合



母の... 乳... 産... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

補 小 産 好

合 産 好

産 魚 好

産 魚 好

産 魚 好

産 魚 好

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

産の... 産の... 産の... 産の...

